

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食物（コムギ）依存性運動誘発アナフィラキシー症例における主要アレルゲンコンポーネント ω 5 グリアジン特異的 IgE の経時的推移に関する調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2001年1月1日から2018年5月31日までに当院を受診し、WDEIAと診断された成人患者（推定20人程度）

2. 研究目的・方法

当科では食物アレルギー専門外来を開設しており、その診療において小麦食品と運動などの組み合わせにより全身アレルギー症状を呈する食物（コムギ）依存性運動誘発アナフィラキシー（FDEIA（WDEIA））の症例を積極的に精査・加療・経過観察している。その長期予後に関する研究は希少であり、また診断や重症度評価に有用とされるアレルゲンコンポーネント検査についても、食事制限によって経時的にどのように変容していくのか十分に明らかにされていない。そこで、そこで、1年以上経過観察を行っているWDEIAの患者を対象に、WDEIAの症状再発の有無や重症度、血液検査結果の推移について後方視的に調査・解析することを本研究の目的とする。上記期間内に記録された対象患者の診療録（2018年1月～電子カルテ）、問診票、紹介患者の場合には診療情報提供書などに記載された診療情報のうち対象患者の食習慣、生活・職業環境、既往歴、アレルギー発症時の状況などを後方視的に収集・調査・解析する。それに加えて、診断・経過観察のために施行した血液検査結果についても調査・解析を行う。

研究期間 医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後・昭和大学病院病院長の実施許可後
～2019年7月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録情報、電子カルテ内の情報、紹介状（診療情報提供書）、検査データ

4. お問い合わせ先

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科 鈴木 慎太郎 （内線 8532・PHS3109）

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部 呼吸器・アレルギー内科 氏名：鈴木慎太郎（すずきしんたろう）

住所：〒142-8666 品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8532

研究責任者：昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科 講師 鈴木 慎太郎